



朝風

北海道天塩高等学校
学校だより 第5号
令和2年11月9日発行

筑波大学によるオンライン授業

9月28日(月)、1年生と2年生を対象に筑波大学の都市計測実験室の学生さんによるオンライン授業を天塩町の協力により実施しました。

学生さんが取り組んでいる地域活性化のための研究紹介では、函館の夜景の変化に関する研究やサッカーJリーグの鹿島アントラーズと連携したマイクロリズムの研究に生徒たちは興味深く熱心に耳を傾けていました。質疑応答では生徒たちから研究についての質問の他、どこの国からの留学生が多いかなど大学生生活についての質問なども出ていました。

このオンライン授業を通じて、課題研究の分析手法を学ぶとともに大学での勉強の楽しさを知ってもらえたことと思います。11月14日、15日には、ホテル夕映で筑波大学との連携ワークショップが開催されるので皆さん参加してください。



体育祭

10月2日(金)、新旧生徒会執行部の運営により、7月に実施できなかった学校祭の代替行事として体育祭を行いました。



今年度初めての全学年での学校行事となりましたが、学年対抗によりバレーボールやバスケットボール、キックベース、ドッジボール、クイズゲーム、リレーなどで熱戦が繰り広げられ、一人ひとりが主役となり活躍する姿が見られました。そして、クラスや学年の壁を超えて応援して交流し学校全体が一つとなったように感じられ、生徒一人ひとりの思い出に残るすばらしい体育祭になりました。

弓道女子団体北北海道大会4位

10月3日(土)、4日(日)に帯広の森弓道場で開催された選抜北北海道大会に出場し、男女の個人戦は残念ながら予選通過となりませんでしたが、女子団体が予選を通過して4位という好成績を残しました。

女子主将の2年齋藤さんは「女子団体4位と良い結果を残すことができたことをうれしく思います。多くの人のサポートと毎日の練習の成果だと思います。この大会でたくさんの課題を見つけることができ良い経験にもなりました。これからも弓道部全員で努力し、

次の大会でも良い成績が残せるように日々の部活をがんばっていきます。」と今後に向けての意気込みを語ってくれました。



新生徒会役員決定

9月24日(木)に生徒会役員選挙、10月5日(月)に生徒会役員認証式が行われ新体制がスタートしました。前生徒会役員の皆さんお疲れ様でした。新役員の皆さんのこれからの活躍を期待します。

生徒会長 谷口愛梨 2年
副会長 横山あゆ 2年 副会長 吉田 椿 1年
書記長 田口若菜 2年 書記次長 柳沼夢奈 1年
会計長 佐藤来海 2年 会計次長 根本麗天 1年
渉外担当 墨谷 菜 1年

<第69期生徒会長 斉藤晴香>

任命されてから早一年。この一年で感じたことがあります。それは、天高のあたたかさです。先生や生徒が、行事や活動に対し、「楽しかった」「お疲れさま」と声かけをしてくださり、とても励みになりました。また、行事の準備で生徒に手伝いを頼むと快く引き受けてくれたり、物を運んでいると自主的に手伝ってくれたり、とても助かりました。それと同時に、天高生の長所だと身をもって感じました。本当にありがとうございました。そして、共に活動してくれた生徒会メンバー、ありがとう。お疲れさま。

<第70期生徒会長 谷口愛梨>

後期生徒会では、「クリエイティブ」という目標を掲げ、活動していきます。私は、初めて生徒会役員として活動していますが、前期生徒会メンバーや同級生、後輩のおかげで運営することができています。今年は新型コロナウイルスの影響で制限がたくさんあり、思うように行事などができませんが、全校生徒が充実した学校生活を送れるよう、努力して運営していきます。至らない点もあると思いますが、優しく見守っていただけると嬉しいです。よろしくお祈りします。

租税教室

10月7日(水)、3年生を対象に租税教室を実施しました。普段の高校生活の中で、意識しなければ税金について知る機会はありません。生徒たちの中には、税金



は単に国から徴収されてしまうお金であり、将来、職についてから本格的に納めなければいけないものであるという漠然とした認識を持っている者が多くいたようでした。

そこで、国民の三大義務の一つである納税の仕組みとその税金がどのように使われているかについて、講義やDVDを視聴し学びました。生徒たちが特に興味を持ったのは、もし、税の仕組みがなければ道路や水道をはじめとしたインフラの整備や緊急時の消防・救急・警察など身の回りにおいて当然のものが、必要な場面でその役割を果たさなくなってしまうという点でした。

今回の租税教室を通して、生徒たちは納税の大切さや税金が自分たちの生活をどのように助けてくれるかということ学ぶことができました。

女子バレーボール部 春高地区予選優勝

10月10日(土)、稚内市総合体育館で開催された選手権大会稚内地区予選に出場して女子バレーボール部が優勝し、出場1校だった男子バレーボール部とともに11月12日から行われる北海道代表決定戦への出場権を獲得しました。

新型コロナウイルスのため、春季大会、高体連が中止となり、久々の公式戦でした。1回戦は、枝幸・豊富合同チームと対戦し、2-0で勝利しました。決勝戦では、稚内大谷高校と対戦し、熱戦の末、2-1で勝利し、優勝という結果を残すことができました。これまでの練習や当日の緊迫した試合展開を通じて、生徒たちは一段と成長したように感じました。

高校生と語るつどい

10月10日(土)、北海道高等学校PTA連合会主催の「高校生と語るつどい」を本校PTAが当番校として「留萌管内の未来はどうなっているのだろう」をテーマに留萌管内の高等学校6校から生徒、保護者、教職員、52名が参加して本校体育館で実施しました。本校からも生徒7名、保護者4名、教職員6名が参加しました。

ワールドカフェ形式により、グループごとにテーマに沿って意見を交わした後、グループごとに話し合いの結果を発表し、留萌の豊かな自然を発信することやSNSを使って発信することなどアイデアを共有しました。

最後のまとめでは、講師である未来塾NEONE代表の馬場航平氏から、現代は自分で問いを考え自分で答えを見つける時代であること、答えは1つではないこと、未来へ向かって小さな変化を積み重ねることが大切であることなど力強いエールをいただきました。



参加した生徒からは、「留萌を一度離れても、また戻ってきて子育てしたくなるような地域の魅力を育てていきたい」、「これからも自分たちに何ができるか考えていきたい」、保護者からは「高校生がこんなにいろんなことを考えていると知って驚いた。」「高校生とたくさん話ができて楽しかった。」などの感想が聞かれ、実り大きな語るつどいとなりました。

後期リーダー研修

10月19日(月)、各HRから代表が集まり後期リーダー研修を行いました。今回は「自分たちのHRの課題」を自ら見つけ出し、課題解決のための取り組みを検討しました。

生徒からは、「自分たちが今どのような課題を持っているのかが明確になってよかった。」「自分自身で取り組みを考えるとやる気が芽生えたとし、リーダーとしてどのようにクラスやみんなをまとめて行けばよいのか理解することができた。」との声が聞かれました。

生徒が主体的に課題探究を行い素晴らしい研修となりました。また、生徒はこの研修会で検討した取り組みを翌日から実践していますが、非常に前向きに取り組んでおり、その成果が出ていると思います。



宿泊研修

10月25日(日)～27日(火)、1年生の宿泊研修をネイパル深川で実施しました。旭山動物園を見学してから深川



へ向かい、進路講話、コミュニケーショントレーニング、進路リサーチ発表会、スポーツレクリエーション、スポーツクライミングを行いました。

これまでの総合的な探究の時間で行った「進路リサーチ」においてグループごとに職業について調べてまとめた結果の発表では、生徒たちは緊張していましたが、同級生や教員からの質疑にもしっかり答え、大きな成長が感じられました。

生徒からは、「最初はあんまり期待していなかったけど、宿泊研修に行ってみたら面白かった。」「進路リサーチの発表も緊張したけれど、無事に発表を終えることができてよかった。」という声がかげられました。

11月の主な行事予定

9日	月	公開授業週間～11月13日
10日	火	後期生徒総会 教科指導訪問
11日	水	防犯・薬物乱用防止教室
16日	月	授業料口座振替日
17日	火	考査1週間前
18日	水	第1回見学旅行保護者説明会・進路講話
24日	火	後期中間考査～11月26日